

感染症週報〔市内週報 平成22年第19週〕

結核・感染症発生動向調査

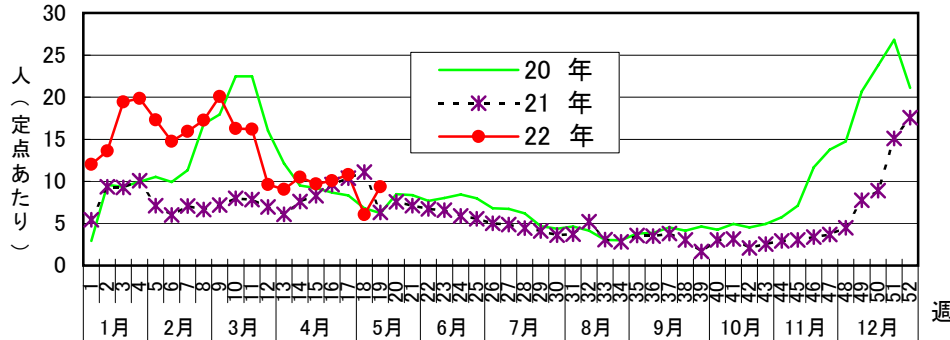
平成22年5月18日

平成22年第19週感染症発生状況【川崎市内】

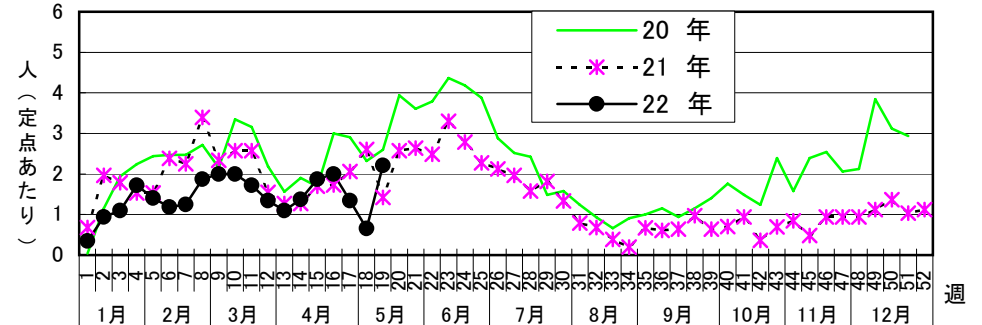
平成22年5月10日～平成22年5月16日

| 5類感染症(定点把握疾患)等 | 全数把握疾患 | 届 出 | 累計(平成22年第1週以降) |
|--|--------|--------|--|
| <p>第19週で報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 水痘 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。感染性胃腸炎が定点あたり9.34人と前週(6.06人)に比較して患者数は増加しております。水痘は定点あたり3.03人で4週連続で増加しており、区別では、幸区と高津区で流行発生注意報基準値(定点あたり4人)を超えております(高津区は3週連続)。さらに、ヘルパンギーナなど(例年夏期に流行をみせる感染症)の患者数が増加傾向にありますので、今後の発生動向に注意が必要です。破傷風の届出が1件(感染原因: 針等の鋭利なものの刺入による感染、感染地域: 川崎市)ありました。</p> | 1類感染症 | なし | なし |
| | 2類感染症 | 結核 8件 | 結核 120件 |
| | 3類感染症 | なし | 腸チフス 1件、腸管出血性大腸菌感染症 3件 |
| | 4類感染症 | なし | デング熱 1件、A型肝炎 1件、レジオネラ症 2件 |
| | 5類感染症 | 破傷風 1件 | アメーバ赤痢 7件 ウイルス性肝炎2件 クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 後天性免疫不全症候群 3件 梅毒 1件 破傷風 1件 風しん 1件 麻しん 4件 |

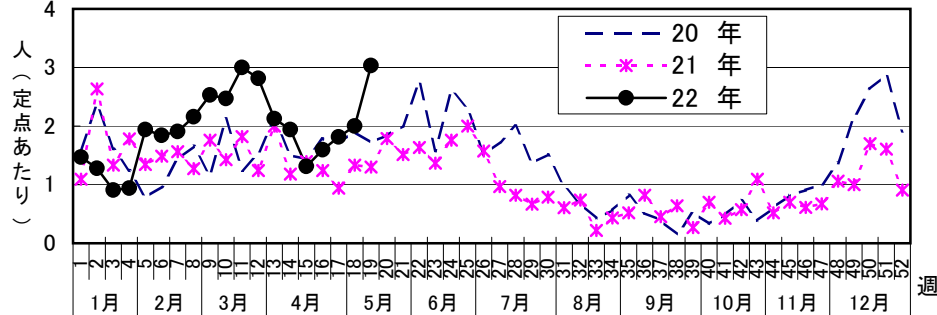
感染性胃腸炎発生状況(3年間)



※今週はIDWRの「注目すべき感染症」の記事の掲載はありませんでした。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



水痘発生状況(3年間)



ヘルパンギーナ発生状況(3年間)

